

はびきの市民大学情報誌

はびきの市民大学だより

四天王寺大学より、インターンシップ生として参りました。宮本と申します。

今回の記事の作成を担当させていただきました。

◎講座運営を体験して

はびきの市民大学講座「古事記を読むⅦ」を体験させていただきました。人気講座ということもあり、参加人数は前半・後半の2回合わせて53名と大人数でした。私は講師対応補助をさせていただいて、準備は講師が授業しやすい工夫など、やる事がたくさんあり、今自分には何ができるのか考え、行動すべきだったのですが、まだまだ自分で考えて行動するという力が足りないということを実感しました。



講義内容は、私にとっては難しい内容だったのですが、受講生の方はとても熱心に授業を受けており、とても集中されている様子でした。一般の大学生より、遥かに集中されていると感じました。そして、講師の南山先生はとても話し方が上手く、時折受講生の方を和ませるなど、とても雰囲気の良い授業作りをされていると感じました。この工夫こそが、人気の講座になる秘訣でもあると感じました。

◎オータムコンサート・特別講義の運営に携わらせていただいて

10月17日に行われたオータムコンサート・特別講義の受付・検温をさせていただきました。この日は雨で足元が悪く、さらにコロナ禍だということを考えると、たくさんの方々が足を運んでくださいました。受付・検温をさせていただいて私が学んだことは、声をおかけするときは、丁寧にわかりやすくすること・検温はお客様がストレスのたまらないように速やかにするのが大切だということです。また、コロナ対策のため、フェイスシールドを着用していたので声がこもりやすく、お客様に伝わらないこともあったので自分自身もっと工夫できたのではないかと反省点も見つかりました。そして、話しているとき・お客様が帰られるときに「笑顔」なのを見て私はやはり人と関わるのが好きなのだと思います。その『笑顔』を作るためにはやるべきことをしっかりやるということが大切なのだと学びました。



◎インターンシップを通して学んだこと

まず、私が学んだことは、はびきの市民大学は様々な仕事があり、お客様に少しでも喜んでもらえるようにと考え、そのために徹底して色々なことをしているということです。また、はびきの市民大学はとても職場の雰囲気が良く、ボランティアスタッフの方も良い方ばかりで職場全体、みんなで協力し合って成り立っているのだと感じました。このように職場全体の雰囲気が良いからこそ、少しでも「お客様が喜んでもらえるように」という素晴らしいお仕事ができるのだと感じました。少し話は変わりますが、はびきの市民大学の近くに昔、映画の撮影地があったとお聞きして歴史の深さ、こういった珍しくて素晴らしい歴史はもっと広まるべきであり、いまの若者は昔のことにもっと興味を持つことが大切だと思いました。他にも学ばせていただいたことはたくさんあり、はびきの市民大学でのインターンシップは私にとってとても良い経験になりました。これからの人生に生かして頑張っていきたいです。

学長コラム【第14回】



河内厚郎
(はびきの市民大学学長)



村上春樹はじめ、多和田葉子や小川洋子など、わが国の作家たちは今年もノーベル文学賞には至らなかった。

村上春樹氏は20年ほど前から下馬評にあがっていたらしく、私のところへも10年以上前から受賞の際のコメントを求める連絡が複数の新聞社から入っていた。

春樹氏の父君、村上千秋(1917~2008)氏は、私の中高時代の恩師であり、卒業後も何度かお目にかかった。私の好きな先生であった。国語の教師だった父上は息子さんの文学を理解しようとの思いは持っていた。父子の間には葛藤があったと伝えられるが、息子が受賞したら喜ばれたと思う。

団塊の世代に属しながら、デモやシュプレヒコールとは無関係で、天下国家を声高に論じたりせず、孤独な内面の世界へ没入していく。そんな村上春樹氏が、今年の『文芸春秋』6月号で、父上の生涯を俯瞰して、みずからの思いを率直に綴っていたのには感動した(今年4月刊行の単行本『猫を棄てる』に収録)。断絶に近い状態がながく続いていたと聞き心配していたが、父の最期に間に合って和解したという。

11月の聴講のご案内

①舞台芸術の世界へ		【大阪芸術大学提携講座】	水曜1限 10:30~12:00
11/4	ポピュラーダンスの世界	大阪芸術大学舞台芸術学科 特任准教授 原田みのる	
11/11	舞台音響の仕組み	大阪芸術大学舞台芸術学科 准教授 小野隆浩	
11/18	舞台芸術入門	大阪芸術大学舞台芸術学科 教授 学科長 浜畑賢吉	
11/25	舞台芸術の楽しみ		
③JAPANSTUDY「世界に誇れる日本料理」「日本の食文化」			月曜1限 10:30~12:00
11/2	日本料理の特徴 1・2・3 P.6~P.8 造りの基礎	料理研究家 近藤一樹	
⑦異国の文化との歴史的な邂逅(であい)-関西文化と感性のかたちをめぐって		【学長企画講座】	土曜1限 10:30~12:00
11/28	東洋と西洋の美学が交差するとき-近代関西の音楽の華、貴志康一を中心に	キュレーター・音楽プロデューサー 佐谷記世	
⑧災害を知り、災害に備える		【大阪市立大学提携講座】	土曜2限 13:00~14:30
11/7	地域の災害関連情報の取得方法	大阪市立大学都市防災教育研究センター 所長・理学研究科 教授 三田村宗樹	
11/14	地震時の建物被害から命を守る	大阪市立大学都市防災教育研究センター 副所長・生活科学研究科 准教授 生田英輔	
11/28	家庭でできる地震対策	大阪市立大学都市防災研究センター 研究員・学長補佐 宮野道雄	

- 場所 LICはびきの内施設
- 申込 来館、電話、FAX
- 申込期間 当該講義日の1週間前から前日まで
※先着順。定員に達し次第、締め切りとなります。
- 聴講料 1講義につき800円(当日支払)

感染予防対策のため、講義室へ入室の際、検温いたします。(37.5度以上の場合は、受講をご遠慮いただきます。)
手指消毒していただいた後、着席してください。
受講時はマスクの着用をお願いします。

はびきの市民大学

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号(LICはびきの内)

【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9時00分~17時30分(2階学習情報室 9時30分~16時30分) ※閉室は祝日・振替休日・年末年始
ご提出いただきました個人情報につきましては、羽曳野市個人情報保護条例(平成12年羽曳野市条例第43号)に基づき適切に管理いたします。
※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

はびきの市民大学

検索

